

72期高 3 保護者進路説明会①

昨年度大学入試のふり返りと、
年内入試をどう戦うか

進路指導部 阿部 宰

71期生入試結果のふりかえり



まずは入試方法と時期について
おさらいしておきましょう



		7	8	9	10	11	12	1	2	3
国公立大学	一般選抜				大学入学共通 テスト出願			大学入学共通 テスト	2次出願	2次試験 前期 合格発表 中期 合格発表 後期 合格発表
	学校推薦型選抜					出願	試験	大学入学共通テストを課す大学もある ※合格発表は大学入学共通テスト後		
	総合型選抜 旧AO入試			出願	試験	合格発表				
私立大学	一般選抜							出願	試験	合格発表
	大学入学共通 テスト利用入試				大学入学共通 テスト出願	大学入学共通テスト前 出願の大学もある		大学入学共通 テスト	出願	合格発表 個別試験 合格発表
	学校推薦型選抜				出願	試験	合格発表			
	総合型選抜 旧AO入試			出願	試験	合格発表				※3月まで実施する大学もある

＊指定校推薦
 ＊公募制推薦
 ＊特別推薦

一般入試

一般選抜



- 調査書、志願者が記載する資料(志望理由書等)の積極的な活用
- 大学入学共通テストの活用、個別試験の出題科目の見直しや充実

AO入試

総合型選抜



- 志願者が記載する活動報告書や志望理由書等の書類を積極的に活用
- 小論文やプレゼン、口頭試問等又は共通テストのいずれかを必須化

推薦入試

学校推薦型選抜



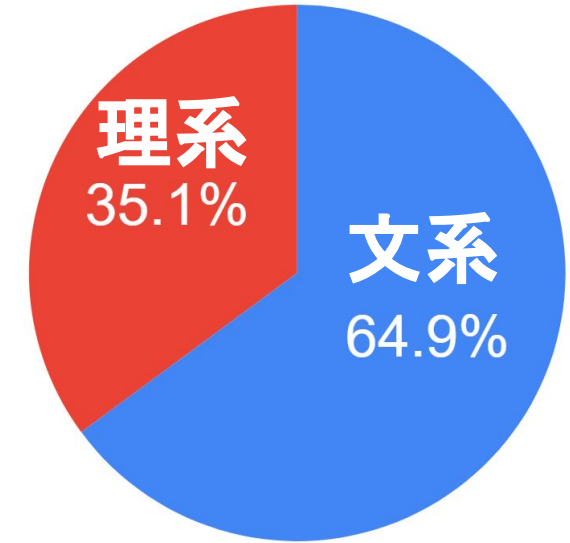
- 推薦書を通して、学力の3要素を評価することを必須化
- 小論文やプレゼン、口頭試問等又は共通テストのいずれかを必須化

※出典：文部科学省「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について（通知）」（2018年10月22日）より作成
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/11/06/1397731_03.pdf

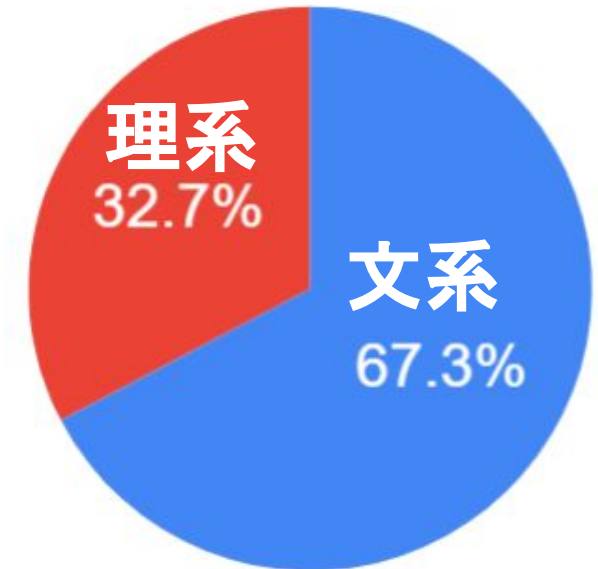
一般選抜でも「調査書」や「志望理由書等」で主体性を評価
 総合型選抜、学校推薦型選抜でも学力的要素が問われる

71期生と72期生 基礎データの比較

【71期】	文系	理系	計
SS	14	27	41
I 類	33	39	72
II 類	68	32	100
表現	25	0	25
スポーツ	42	0	42
計	182	98	280



【72期】	文系	理系	計
SS	17	26	43
I 類	42	40	82
II 類	97	41	138
表現	30	0	30
スポーツ	34	0	34
計	220	107	327



昨年度本校卒業生(71期生)進路決定状況

	S S		I 類		II 類		表現		スポーツ		全体	
① 4年制大学	34	82.9%	60	91.7%	94	93.0%	22	75.0%	38	95.1%	249	88.9%
② 短期大学								3.6%	1	2.4%	1	0.3%
③ 専門学校	2	4.8%	3	4.1%	2	1.9%	3	14.3%	1	2.4%	10	3.5%
④ 海外学校			4	5.5%					1	2.4%	5	1.7%
⑤ 進学準備(浪人)	5	12.2%	5	6.9%	5	4.9%					15	5.3%
⑥ 就職・他												
総計	41		72		101		25		41		280	

進路決定率 94.7%



国公立大学合格者数(延べ数)

北海道大学

大阪大学

岩手大学

東京学芸大学

静岡大学

滋賀大学

京都工芸

大阪教育

東京都立大

大阪公立大 他 合計31名合格

防衛大学校・防衛医科大学校 1次合格 24名

SS	15 / 41名
I 類	10 / 72名
II 類	2 / 100名
既卒	4 名

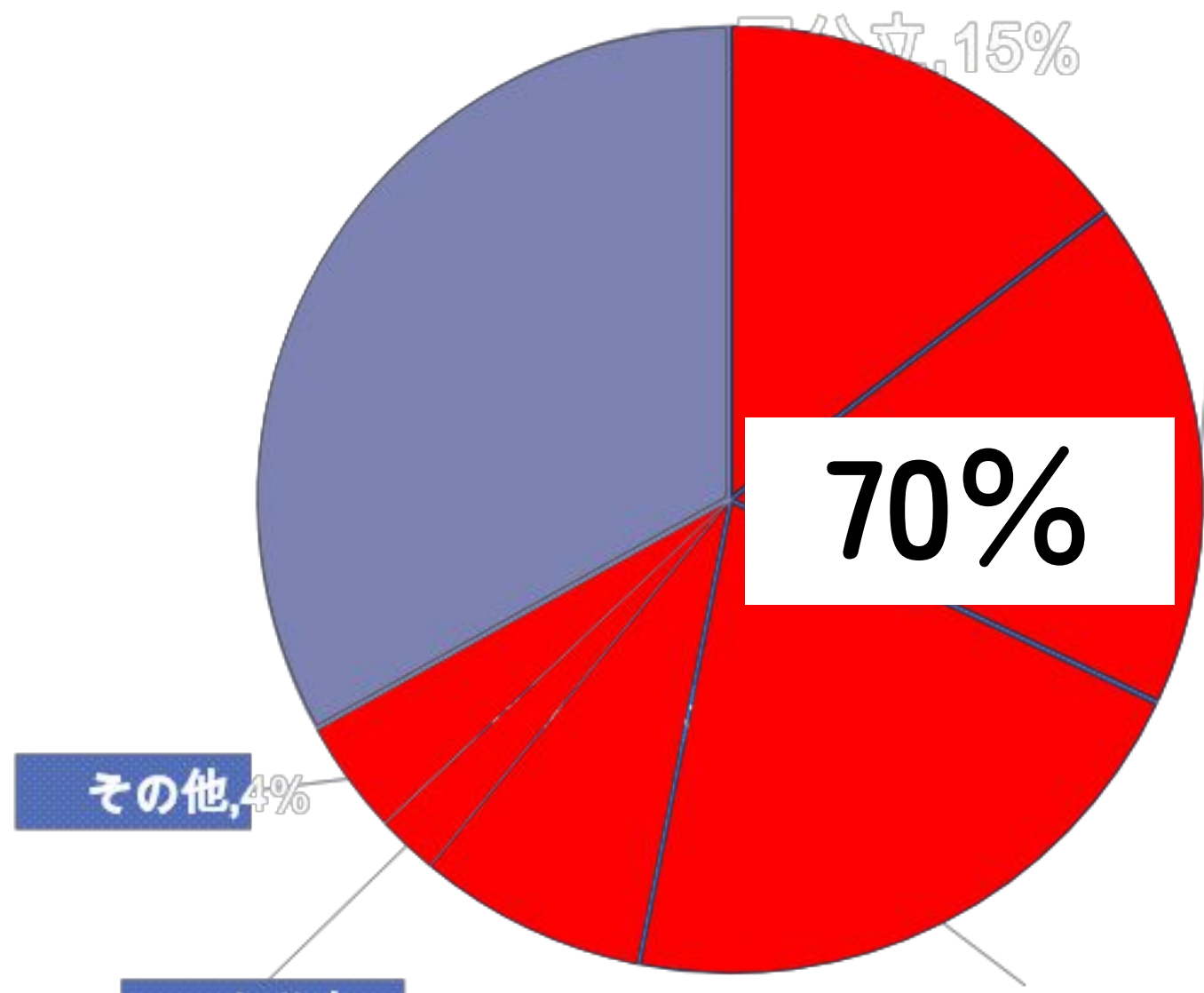
私立大学合格者数(延べ数) 総合合格者数858名

早慶上理 4名
関関同立 132名
産近甲龍 335名

追手門学院大
内部推薦専願8名
内部推薦併願87名

指定校推薦 合格者70名
総合型選抜(AO) 合格者30名

進学者の約70%が難関・中堅大以上



- * 国公立大学
- * 所管外大学校
- * 関関同立
- * 産近甲龍
- * 早慶上理
- * MARCH
- * 日東駒専
- * 関西4女子大
- * 関西2外大
- * 関西3薬大
- * 医学部・歯学部



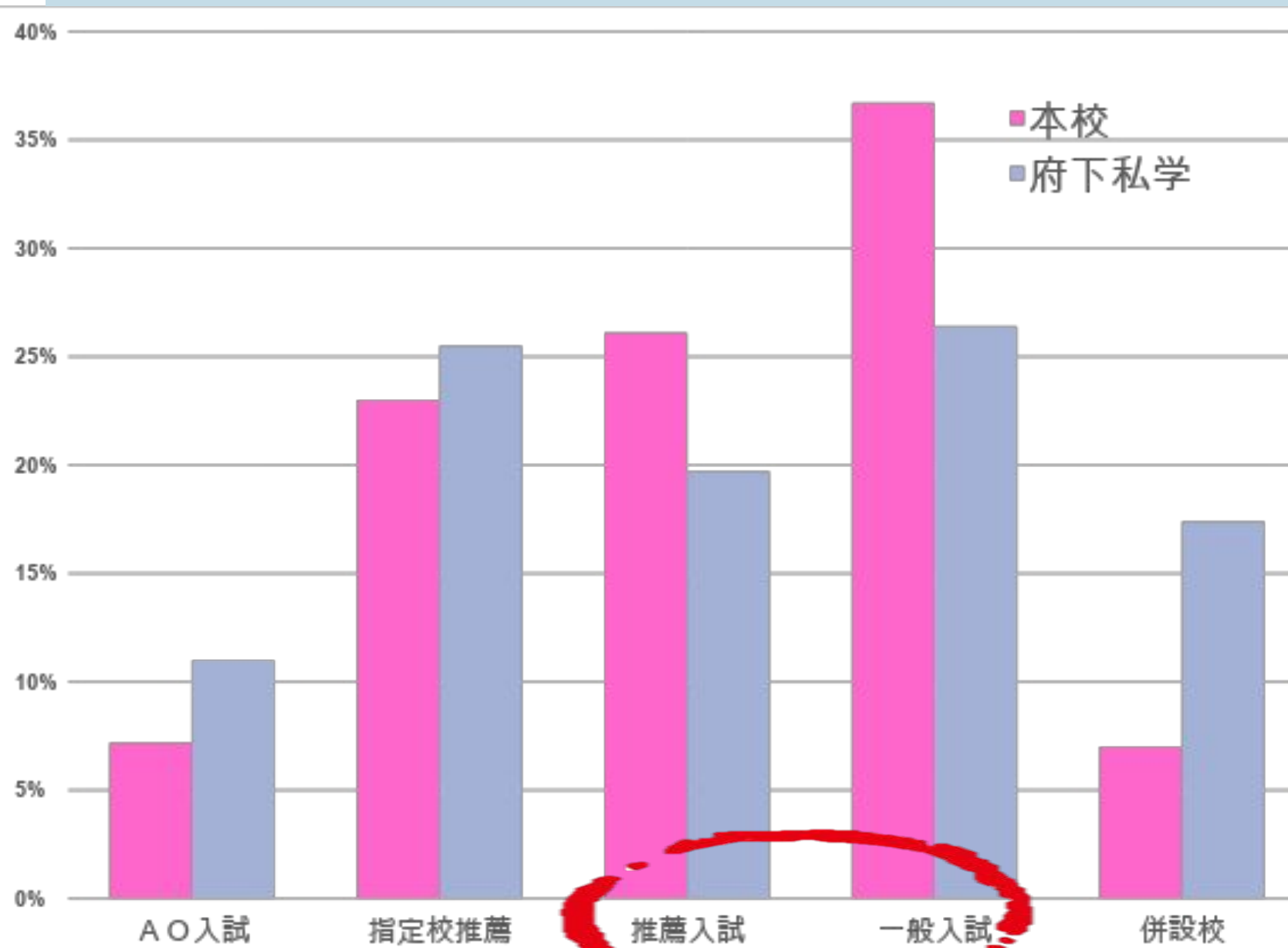
年内の入試をいかに戦うか

大学入試種別合格者数

	S S	I 類	II 類	表現	スポーツ	全体
総合型選抜	6	7	5	9	4	31
指定校	1	8	40	11	10	70
特別・課外推薦					18	18
追大内部(専)			2		6	8
追大内部(併)	9	23	40	3	12	87
公募推薦	96	141	115	3		355
一般	65	67	91			223
全体	168	246	293	26	50	792

推薦・総合型選抜が半数超⇒年内受験の重要性！！

府下他私学と比較してみると（進学者別入試方式）¹³



◎本校生受験の特徴

公募制推薦で合格後、
一般入試まで頑張って
合格した大学への入学
者が多い。



第1希望への強い思い

本校の受験戦略（年内）

指定校推薦・総合型選抜（AO入試）

⇒自分の第1希望での募集があれば、積極的にチャレンジ。
本校では所属コースによる指定校への出願制限は設けていない。

追手門学院大学内部推薦（専願・併願）

⇒受験料は不要。出席日数・評定平均値の条件はあるが、昨年度は希望者全員合格。併願受験の場合は、2月の私大一般の結果まで入学手続きは不要。

産近甲龍など中堅校の学校推薦型選抜（公募制）

⇒国公立・関関同立を目標とする生徒も受験。まず、年内で合格を一つ取る。
国公立希望者は、防衛大学校の一次試験を併願する場合も。

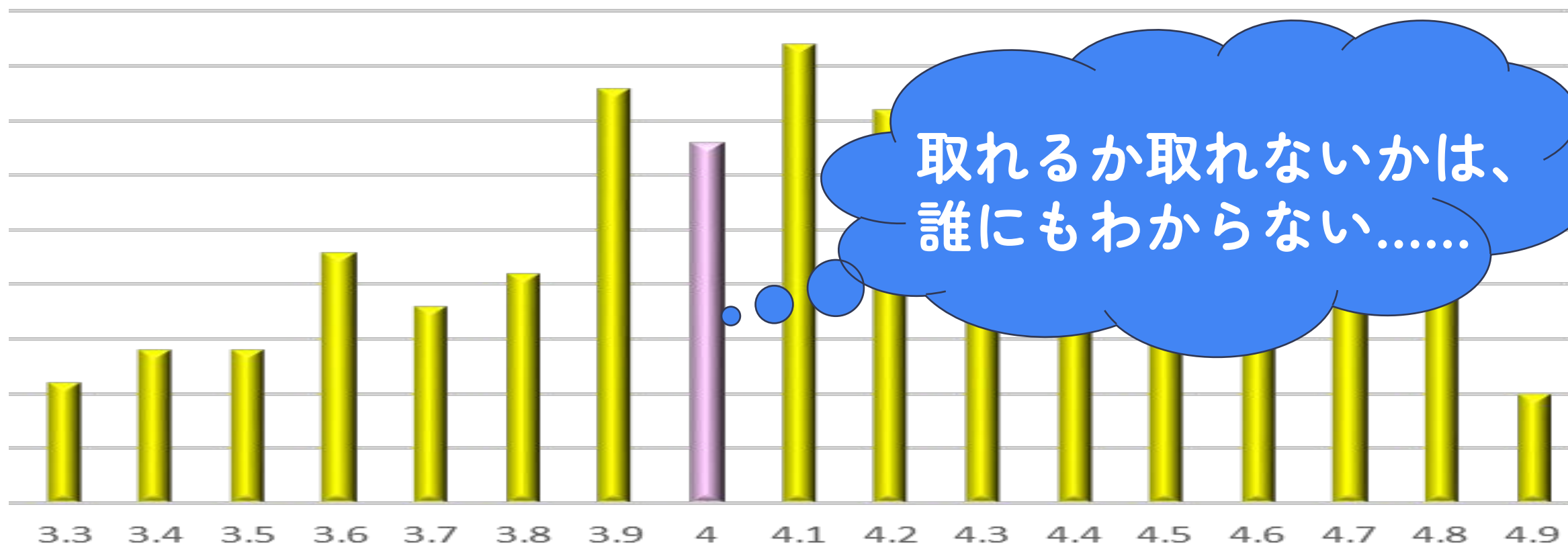
**年内に合格を最低1つは確保する
＝受験パターンの絞り込み。心理的安定**

年内の入試の特徴

指定校推薦編

Q.いま僕は評定平均値が4.0ありますが、指定校取れますか？

昨年度280名の評定平均値の中央値は4.2



71期高校3年生の7月末仮評定

年内の入試の特徴

指定校推薦編

【メリット】

- ＊校内選考に通れば、合格する可能性が高い。
- ＊基本1回受験で済むので併願策を考えなくて良い。
- ＊年内に志望校への合格が決まる。クリスマス・正月がめでたい。

【デメリット】

- ＊校内選考の突破が難しい。自分の努力だけではどうにもならない。
- ＊安易な出願によって、4年間苦しむリスクがどの入試よりも高い。
- ＊志望理由書・面接対策に加え、学力試験があるケースも増加。
- ＊合格発表が公募推薦と同時期なので、万一落ちたら一般入試突入。

とはいえ、第1志望の指定校は、チャレンジするのもあり！:

年内の入試の特徴

追大内部推薦編

Q.内部推薦はどのくらい受けて、追大に何人が進学するんですか？

昨年度の募集定員と出願者数

学部	学科	定員	受験者数	合格者数
文	日本文学	5	5	5
	歴史文化	5	5	5
	美学・建築文化	2	2	2
国際	グローバルスタディーズ	3	3	3
	国際文化	6	6	6
心理	心理	10	10	10
	人工知能・認知科学（併願のみ）	2	2	2
社会	社会	11	4	4
	スポーツ文化	9	4	4
経済	経済	23	21	21
経営	経営・マーケティング	12	12	12
	ビジネス法務	5	1	1
	ビジネス心理	5	3	3
	情報システム	3	3	3
地域創造	地域創造	13	6	6
法	法律	8	8	8
		122	95	95

専願：8名

併願：87名

入学：21名

年内の入試の特徴

追大内部推薦編

【メリット】

- *受験料無料！ 併願型は近大公募の合格発表まで入学金が猶予。
- *専願型は比較的早く決まる。大学授業の先取りで単位も取得できる。
- *昨年度・一昨年度は不合格者はいないので、滑り止めとして有効。
- *このクラスの大学を抑えに使えるのは最大のメリット。贅沢です。

【デメリット】

- *校内選考があり、必ずしも第1希望で受験できるとは限らない。
- *他大学の公募推薦と日程が重複する場合も。
- *私大との組み合わせは理想的だが、国公立との併願が難しい。

本校の受験併願の要。私大希望者はぜひ積極的に！

校内推薦を受ける条件（指定校推薦・追手門学院大学内部推薦など）

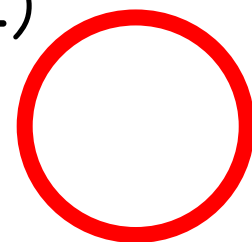
- ▶ 各大学側が設定した条件（出願資格）を満たすこと。
- ▶ 高3時の4月1日以降、生活指導上の処分、または謹慎及び校長訓戒の特別指導を受けていないこと。
- ▶ 3年次の出欠については、以下の通りとする。
 - ①欠席日数が、1学期末までに5日未満かつ卒業までに10日未満であること。
 - ②遅刻・早退の合計回数が、1学期末までに7回以内かつ卒業までに14回以内であること。
- ※ 上記①の欠席日数には遅刻早退数 3 に付き欠席 1 に換算した日数を含む。
- ▶ その他、高校が生活指導上の理由等で推薦に値しない人物と判断した場合、推薦しない、または推薦を取り消すことがある。

- ①欠席日数が、1学期末までに5日未満かつ卒業までに10日未満であること。
- ②遅刻・早退の合計回数が、1学期末までに7回以内かつ卒業までに14回以内であること。

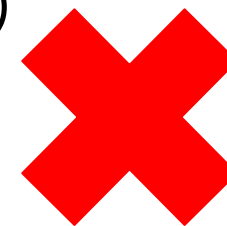
欠席日数には遅刻早退度数3につき欠席1に換算した日数を含む。

1学期終了時点で...

欠席3回、遅刻5回だと $\Rightarrow 3 + 5/3$ (遅刻1回を欠席の3分の1として計算)
 $= 4 \frac{2}{3}$



欠席3回、遅刻7回だと $\Rightarrow 3 + 7/3$ (遅刻1回を欠席の3分の1として計算)
 $= 5 \frac{1}{3}$



年内の入試の特徴

総合型選抜編

Q.できるだけラクに大学に入りたいのですが、総合型ってありますか？

* 主要大総合型選抜入試合否・合格率

	合格	不合格	合格率	
国公立大	3	7	30.0%	京者
関関同立	1	2	33.3%	立大
産近甲龍	0	2	0.0%	
その他私大	36	27	57.1%	慶応 京者 大(2)
総計	40	38	51.3%	

準備が大変なわりには受かりやすいとはとても言えない。ラクな入試では決してない。ただ、昨年度は国公立大や、慶応大・関関同立大のような難関校の総合型選抜に合格した先輩もいる。

年内の入試の特徴

総合型選抜（旧AO）編

【メリット】

- *早い段階からのプログラム参加などにより学習意欲は高まる。
- *学校によっては合格率は高いこともある。
- *どの入試よりも合格発表が早い。やはりクリスマス・正月がめでたい。

【デメリット】

- *早期からの特別な準備が必要。膨大な文章を書くことも。
- *合否の基準が見えにくい。試験官の好みの側面も否定できない。
- *志望理由書・面接対策に加え、学力試験があるケースも増加。
- *専願受験が多いので、決まったあとで後悔する人も。

とはいえ、第1志望の総合型ならチャレンジするのもあり！

年内の入試の特徴

学校推薦型選抜(公募)編

Q.公募推薦で評定使わないのなら、学校の成績って関係ないですよね？

	京都産業大学			近畿大学			甲南大学			龍谷大学		
	○	×	合格率	○	×	合格率	○	×	合格率	○	×	合格率
4.9							1	0		1	0	
4.8	3	0		9	0							
4.7	6	0	94.7%	13	6	46.5%			66.7%			100.0%
4.6	2	0		3	0		1	0				
4.5	7	1		22	48		0	1		6	0	
4.4	15	5		32	14					9	19	
4.3	10	1		23	36		1	0		16	18	
4.2	6	9	52.0%	11	27	30.4%	2	3	50.0%	9	5	44.2%
4.1	13	7		11	88		1	0		5	4	
4.0	7	25		25	68		1	2		7	12	
3.9	0	7		20	66		4	1		6	49	
3.8	7	26		6	56		1	2		3	18	
3.7	7	9	27.3%	7	49	18.7%	1	0	46.2%	6	6	26.5%
3.6	4	7		17	56		0	4		12	2	
3.5	6	15		9	29							
3.4				3	16					2	0	
3.3				5	15					2	6	
3.2	0	2	0.0%	0	15	12.1%						40.0%
3.1												
3.0				0	12							
2.9	0	10	0%			0%						0%
総計	93	124	42.9%	216	601	26.4%	13	13	50.0%	84	139	37.7%

A.
結論から言えば、残念なほど相関性が高いです。
たとえば、近大の公募は評定平均値を用いませんが、合格割合は評定値と相関しています。

入試出題範囲 = 高校学習内容。

学校推薦型選抜(公募)編

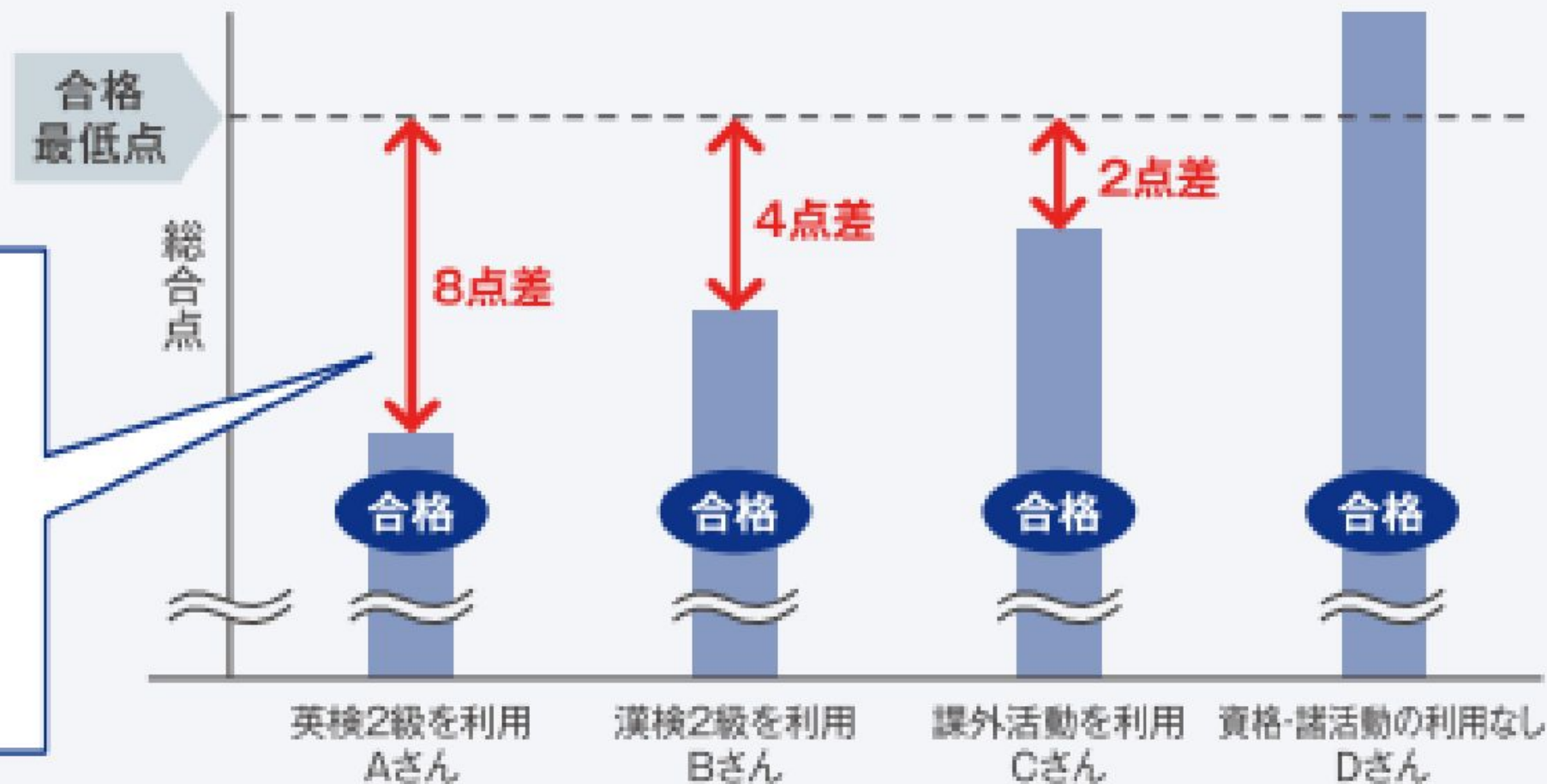
ケーススタディ：京都産業大学公募推薦

- ◎ 評定平均値を算入する「総合評価型」と、算入しない「基礎評価型」がある。
- ◎ 「総合評価型」(英語100点 + 国 / 数100点 + 調査書100点)の判定方法は以下。
 - ① 評定平均値を単純 20 倍化する。例、評定平均値「4.3」⇒86点
 - ② 当日の試験 2 教科の総点200点満点を上記の点数に加える。計300点満点
2023年度合格最低点 経済学部：218点(72.6%) 情報理工学部：227点(75.6%)
 - ③ 上記②で合格判定。これで不合格となった受験生に、評価点最大20点加算。
評価点の例：英検2級＝8点 英検準2級＝4点 部活2年以上＝2点など
 - ④ ③の得点を元に再判定。これで合格最低点を超えればOK
⇒昨年度の本校からの受験生はこれで9名が復活合格！
- ◎ 試験としてのメリットは他にも。
 - *現役生のみ受験可能。浪人生は受けられない。
 - *国語の出題範囲は現代文のみ。
文系数学の選択も可、範囲はⅠⅡA。

学校推薦型選抜(公募)編

ケーススタディ：京都産業大学公募推薦

総合点が
合格最低点に
達しない場合に
適用します。



年内の入試の特徴

学校推薦型選抜（私大公募）編

【メリット】

- ＊年内に進学先を確保できる心理的な安定感。
- ＊第1希望なら、受験回数を増やす意味でも受験は必須。
- ＊年明けの一般受験の対策・併願策がかなり容易になる。
- ＊中堅の総合大学が軒並み実施しているので、定員も大きい。

【デメリット】

- ＊評定平均値を使わないタイプは、正直合格率が低い。
- ＊受験料は余計にかかり、割引制度がないことも多い。
- ＊年内に入学金が発生するので、親の資金計画が狂うことも。

一般受験で難関の第1希望を狙う場合も、必ず受験する！

本校の受験必勝メソッド

27



3年6月模試 偏差値	関西大		関西学院大		同志社大		立命館大		全体		合格率
	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	
65～	3	4	5	4	1	12	11	3	20	23	46.5%
60～64.9	20	33	16	13	11	4	18	24	65	74	46.8%
55～59.9	6	60	5	26	2	16	23	54	36	156	18.8%
50～54.9	6	62	2	22	4	7	12	81	24	172	12.2%
45～49.9	4	19	0	1	0	6	2	39	6	65	8.5%
40～44.9	0	29	0	8			0	16	0	53	0.0%
35～39.9											
～34.9											
総計	39	207	28	74	18	45	66	217	151	543	21.8%

3年6月模試 偏差値	京都産大		近畿大		甲南大		龍谷大		全体		合格率
	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	
65～	1	0	8	4					9	4	69.2%
60～64.9	13	1	44	32			16	2	73	35	67.6%
55～59.9	15	3	24	61	1	1	8	14	48	79	37.8%
50～54.9	18	11	23	69	1	1	6	22	48	103	31.8%
45～49.9	7	19	15	82	0	2	6	10	28	113	19.9%
40～44.9	0	14	0	13	0	0	0	9	0	36	0.0%
35～39.9	0	2	0	4					0	6	0.0%
～34.9											
総計	54	50	114	265	2	4	36	57	206	376	35.4%

本日のまとめ

- ・指定校推薦・総合型選抜は、第1希望校なら積極的にチャレンジ！でも、アテにはしない。チャンスの1つと捉えよう。
- ・追大内部推薦は、積極的に出願。
- ・公募推薦は、必ず1校以上受験しよう。
- ・受験は心理戦。年内受験を必ず1つ取る。
- ・評定平均値を必ず上げる。
- ・6月模試で偏差値45を必ず超える！

ご清聴ありがとうございました。